

一組総支部  
親睦交流野球大会  
10月22日(木)  
朝8時30分試合開始

# 東京清掃労働組合

# 一組総支部通信

一組総支部  
事務局  
一組本庁支部内  
fax6238-0504  
tel6238-0502  
e-mail  
seisou-ichkumi  
@w7.dion.

執行委員長  
岡沢 徹  
編集  
教宣部長  
福田雄一

## 港工場、千歳工場代表と各支部代表が 全面委託に反対する決意表明!



一組総支部は、9月18日の小委員会にて、委託提案を受け、ただちに撤回要求を行い、今後の専門委員会の設置を承知した。10月2日、先の委託反対要請に続いて、一組総支部各支部内の66名が参加し、本庁内にて抗議行動を実施した。

一組総支部中里書記次長(江戸川工場)の進行で始まり、清掃本部より、額田(こうけつ)副委員長、一組総支部執行部長、各支部代表より、委託撤回の意見を述べた。



# 一組総支部 運転係の全面委託 白紙撤回を要求

# 抗議要請行動を貫徹!

9月18日に一組当局から示された「平成22年度清掃工場運転管理業務委託(提案)」に対する私たちが抱く不安を、抗議の意を表明いたします。

東京清掃労働組合は、この間、清掃工場外部業務委託(アウトソーシング)は東京清掃工場全体にかけられた攻撃として捉え、また、23区に及ぶ清掃事業を危うい状態に陥らせているものとして反対を続けてきました。

既に委託された工場において多くの問題が発生し、一組組織にとって重大なダメージとなりつつある。清掃工場運営に関する提案や協議の場でも度々申し上げてきた

たはずです。そのことが、工場の安全と安定的な操業の維持に大きな不安をもたらしていることは紛れも無い事実です。

それにも拘らず、一組当局が何ひとつとして態度に答えるようとしません。

9月18日に開催された「委託検討検討委員会」で、現行の委託がいかに不合理で、技術的な安全性にも問題があり、清掃工場の安全と安定的な運営が危うくなっているのか、報告してきました。そして、私たちが指摘していたとおり、9月5日、品川清掃工場において、痛ましい死亡労働災害が起これてしまったのです。一組当局はこの

に課せられた、ごみの中間処理部門としての清掃行政のあり方、23区民の快適な生活環境の確保、効率的な財政運用の責務、そして清掃工場の安全と安定的な操業について現場サイドからの提言を申し上げているのだ

な場所で見直しが図られています。一組当局も時代の流れを読み取り、「経営計画」から再度見直し、最大の不安材料である清掃工場外部業務委託計画の軌道修正を図るべきなのではないでしょうか。

無理な根拠をかざして清掃工場の外部業務委託を第一とする当局の考え方には、中間処理部門の健全な発展に繋がらないと考えます。私たちが、今回の提案の即時撤回を申し入れ、安全で安心な清掃工場を作ることを築き上げることを要請するものです。

生活環境を守るため、日々全力で業務に取り組んでいます。さて、一組の行く末を案じて私たちが心を痛めている中、9月18日に一組当局から一組総支部に対し「経営改革プラン2009」に基づく、港清掃工場と千歳清掃工場の「運転管理業務」等の委託(提案)が示されました。先に、私どもから提出した「平成22年度予算要求」でも清掃工場の委託に反対を表明してきたところですが、しかし、一組当局はこれまでの私たちの様々な血の叫びにも、無視に無視し、委託提案を断ることは非常に憤りを覚えます。

私たちは9月に開催された「委託検討検討委員会」で詳細に、現在の委託がいかに不合理で、技術的な安全性にも問題があり、清掃工場の安全と安定的な運営が危うくなっているのか、報告してきました。そして、私たちが指摘していたとおり、9月5日、品川清掃工場において、痛ましい死亡労働災害が起これてしまったのです。一組当局はこの



一組総支部  
岡沢委員長

岡沢委員長は、アウトソーシングありきの一組当局の姿勢に対し、今後の一組組織の構築や、人材育成について言及、地域の為に、安全、安定的な工場運営のために、直営を堅持すること、新規採用で、技術継承を行うことなどを訴え、続いて、池田総支部執行委員長より、一組総支部要請文を読み上げました。

私たち清掃一部事務組合で廃棄物処理の業務に従事する職員は、本庁及び一組が管理する中間処理施設に於いて、東京二十三区域から日々排出されるごみの処理に携わり、二十三区民の

暮らしに役立つ全労働東京労金アセシつくば

生活環境を守るため、日々全力で業務に取り組んでいます。さて、一組の行く末を案じて私たちが心を痛めている中、9月18日に一組当局から一組総支部に対し「経営改革プラン2009」に基づく、港清掃工場と千歳清掃工場の「運転管理業務」等の委託(提案)が示されました。先に、私どもから提出した「平成22年度予算要求」でも清掃工場の委託に反対を表明してきたところですが、しかし、一組当局はこれまでの私たちの様々な血の叫びにも、無視に無視し、委託提案を断ることは非常に憤りを覚えます。

私たちは9月に開催された「委託検討検討委員会」で詳細に、現在の委託がいかに不合理で、技術的な安全性にも問題があり、清掃工場の安全と安定的な運営が危うくなっているのか、報告してきました。そして、私たちが指摘していたとおり、9月5日、品川清掃工場において、痛ましい死亡労働災害が起これてしまったのです。一組当局はこの



豊田工場  
池田総支部執行委員長

事故についてどのように総括されているのでしょうか。一組の区長への報告文では、日立造船株からの報告として複数人作業すべきところを単独で作業を行ったのが要因とされています。死亡した人が、自分の判断により一人で作業したのが労働災害の原因であるかのごとく断定しています。しかし本質は職場体制に原因があることが容易に想像できます。このコンベアに限らず廃プラ以降スチールパイプ等の不燃ごみの増大により、現場では日常的

えんとつ  
ピオトープと言われる言葉が最近よく耳にする。いわゆる自然の生き物を育成できるシステムとなっているが、昔からあったものなので、新製品でもないらしい。自宅の近くの里山にも当たり前のようにあるもので、大切な環境をいかして、後世に伝えることが大切なのへの取り組みなのである。

小学校でも、家庭の一角にその環境を作り、植生や生き物を育てる課外授業の学習も構築されてきている。大事なことは、この環境を守ることができるとうかたと思ふ、自然破壊や環境破壊は、人間が一番早く手をいれることができる。簡単に消滅させてしまつていく過去の事例を見ても、いかに守ることが重要か、ひびく提案であるが、工場敷地内、ピオトープの環境構築をしたらいいのではないかと。水処理の成果やなにかと排水関係が関連する、工場設備等、さらなる環境優先の工場の事業が活かされることにもなる。見学者の皆様にも関心をもちたい。我々もアウトソーシングありきには手を打つことはできないのである。

## 活動予定と日程

- 10月2日 一組総支部 執行委員会
  - 9日 常任委員会
  - 16日 一組総支部 支部委員会
  - 23日 一組総支部 執行委員会
  - 28日 一組総支部 常任委員会
- 文化厚生活動の推進、野球大会の実施、組織対策、異動問題、安全衛生課題、労働災害対策 廃プラ、委託検証、



水草のピオトープ